

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	2019
授業科目名	多文化共生基礎
学期	秋学期
教員名	阿部裕、アルモーメン・アブドーラ、岡崎広樹、小貫大輔、加藤丈太郎、菊池哲佳、木下理仁、倉田良樹、島村暁代、高橋清樹、藤本俊明、松尾慎

講義概要	
<p>グローバル化の加速により、日本社会の多言語・多文化化が進行するなか、ホスト社会と在留外国人のあいだでさまざまな問題が顕在化してくるようになり、全国各地で多文化共生の推進が急務となっている。本授業では、在留外国人をとりまく動向や歴史的経緯、政策や制度などに関する基礎知識を身につけるほか、さまざまな課題に最前線で取り組む方々を迎え、リレー形式で「多文化共生のいま」をテーマに講義を行う。</p>	

達成目標	
<p>日本社会の多言語・多文化化の進行状況と、そこで発生する諸課題、その解決に向けてのさまざまな取り組みを知るとともに、困難な状況にある人々への共感的理解を深めることを目標とする。</p>	

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)	
特になし。	

授業計画		
1	授業計画	ガイダンス (教員:木下理仁 東京外国語大学ボランティア・コーディネーター、東海大学教養学部国際学科非常勤講師)
	事前学習	シラバスを確認する。
	事後学習	ガイダンスの内容を踏まえ、本科目が扱うテーマを把握する。
2	授業計画	日本社会の多言語・多文化化と「多文化共生」 (教員:倉田良樹 一橋大学大学院社会学研究科特任教授)
	事前学習	在住外国人に関わるニュースをチェックしたり、関連の図書を読んでおく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、「多文化共生」に向けての課題を考える。できれば外国人住民が多く居住する「集住都市」を訪問して、その現実に触れて体験学習することが望ましい。
3	授業計画	イスラム教は平和な宗教なのか(日本のイスラム教徒) (教員:アルモーメン・アブドーラ 東海大学国際教育センター教授)
	事前学習	イスラームに関する基礎知識を調べておく。
	事後学習	「東京ジャーミイ」(渋谷区)等の宗教施設を訪ねてみるとよい。

4	授業計画	出入国在留管理政策と外国人の人権 (教員:加藤丈太郎 日本学術振興会特別研究員(DC2))
	事前学習	外国人が在留資格をめぐって問題を抱えたケースを新聞記事などに当たり調べておく。疑問な点があればアンダーラインを引いておく。
	事後学習	通訳をする際に、在留資格の種類と内容をすぐ参照できるように準備をしておく。
5	授業計画	外国人の労働問題 (教員:島村暁代 信州大学経法学部准教授)
	事前学習	外国人の労働問題に関わるニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、外国人労働者の受け入れに関わる問題についてさらに調べる。
6	授業計画	外国につながる子どもたちの学習や進学の問題 (教員:高橋清樹 多文化共生教育ネットワークかながわ(Me-net)事務局長)
	事前学習	外国につながる子どもたちに関わるニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義で紹介された図書を読むなどして、さらに理解を深める。
7	授業計画	日本で暮らす外国人 ころの医療 (教員:阿部裕 四谷ゆいクリニック院長)
	事前学習	精神科の外国人患者を受け入れている医療機関およびころの医療通訳の情報を調べる。
	事後学習	講義内容を踏まえて、諸外国の外国人ころの医療の問題についてさらに調べる。
8	授業計画	在住外国人の日本語学習の現状と課題 (教員:松尾慎 東京女子大学現代教養学部教授)
	事前学習	文化庁のホームページで様々な情報が得られる。例えば、「文化庁国内の日本語教育の概要」が公開されている。Yahooニュース、田中宝紀さんの個人ページも参考になる。
	事後学習	実際に地域の日本語教室に参加してみるとよい。また、諸外国における移民の受け入れと言語教育のあり方について調べてみることも推奨する。
9	授業計画	異文化間コミュニケーション (教員:小貫大輔 東海大学教養学部国際学科教授)
	事前学習	特になし。
	事後学習	講義内容を踏まえ、異文化間コミュニケーションについてさらに調べる。
10	授業計画	日本で暮らす難民(教員:藤本俊明 難民支援協会理事)
	事前学習	「難民支援協会」のウェブサイトの内容をチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえ、難民受け入れの問題についてさらに調べる。
11	授業計画	外国人集住地域のまちづくり (教員:岡崎広樹 芝園団地自治会事務局長)
	事前学習	インターネットで「芝園団地」に関する情報をチェックしておく。

	事後学習	講義内容を踏まえ、他の外国人集住地域における「まちづくり」の事例を調べる。
12	授業計画	ブラジルから来た子どもたちの現状と教育に関する諸課題 (教員:小貫大輔 東海大学教養学部国際学科教授)
	事前学習	日本で暮らす外国人の子どもの教育に関するニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、外国学校の実情や公立学校における多文化教育についてさらに調べる。
13	授業計画	災害時の外国人支援 (教員:菊池哲佳 (公財)仙台観光国際協会 国際化推進課係長)
	事前学習	東日本大震災等の大規模災害発生時における外国人被災者に関するニュースをチェックする。
	事後学習	講義内容を踏まえ、さらに多くのケースについて調べる。
14	授業計画	在日コリアンの歴史と「ともに生きる」 (教員:木下理仁 東京外国語大学ボランティア・コーディネーター、東海大学教養学部国際学科非常勤講師)
	事前学習	在日韓国・朝鮮人の歴史について調べる。
	事後学習	講義内容を踏まえて、「ともに生きる」と「多文化共生」についてさらに考えを深める。
15	授業計画	日本社会の多言語・多文化化と私たち(意見交換) (教員:木下理仁 東京外国語大学ボランティア・コーディネーター、東海大学教養学部国際学科非常勤講師)
	事前学習	これまでの授業の内容を再確認しておく。
	事後学習	各自の関心に応じて、さらに問題を掘り下げて調べ、考える。

授業方法

多文化共生などの分野における専門家によるオムニバス形式の講義

成績評価方法

コメントシート 40%、積極的な授業参加 30%、期末レポート 30% を総合して評価する。